



### 「観劇の会」の報告

## 阿弥陀様のもとへ旅立った九條武子のものがたり

日時：10月6日(火)午後3時30分開演、午後3時浅草公会堂前集合  
会場：浅草公会堂(懇親会「ニュー浅草」)  
会費：1万円(観劇チケット6,000円+懇親会費4,000円)



★「夢千代日記」以来の志村会員・演出の「如月の華—九條武子ものがたり」を浅草公会堂で観劇。西本願寺第21代法主・明如(大谷光尊)の次女として生まれた九條武子の一生を義姉との人間関係、夫との愛、柳原白蓮との親交、全壊した築地本願寺の再建や震災による負傷者・孤児等の救援活動、仏教主義に基づく京都女子専門学校(現・京都女子学園、京都女子大学)の設立等、人生を「阿弥陀様の愛」を基に駆け抜けた女の物語。波乱万丈な一生を、2時間半ほどにまとめるのに、志村会員の苦勞が解るような気がした。武子の行為を「お嬢様の気まま」と反発していた周囲の人々も、最後は武子の入院する病院に集まり、武子の臨終に涙を流し、武子の「阿弥陀様のもとへ」というラストシーンが印象に残った。終了後の懇親会で耳にしたことだが、「志村さんは女優の使い方がうまい」らしい。そういえば、「夢千代日記」の主役も今村文美、そして廻りをベテランと若手の女優が固めるという構図だったと思う。

★ 懇親会を近くの「ニュー浅草」で実施、小平のメンバーに加え、西東京稲門会の志村応援団、志村会員の高校時代の友人(友人3人は鹿児島島のラサールで、全員早大OB、志村会員は函館ラサールの一期生だそう)、女優さん3人と志村会員の総勢20人で大いに盛り上がった。女優の有田佳代さんは商学部卒という。途中、主役の今村文美さんをご挨拶に見えた。



九条武子役の今村文美さん



白蓮役の小林祥子さん



木登りの娘時代役他



木登りの娘時代役他

#### ★小平稲門会の参加者

荒木さんと友人の山田さん、石井(伸)さん、井垣さん、小川さん、小山さん、滝沢さん、中村さん、山本さん、二又さん、穂積の総勢11名。ほか堀田夫妻、栗原さん。後日国分寺稲門会からも参加者が有ったと聞く。

(文責:穂積 写真:荒木・山本)